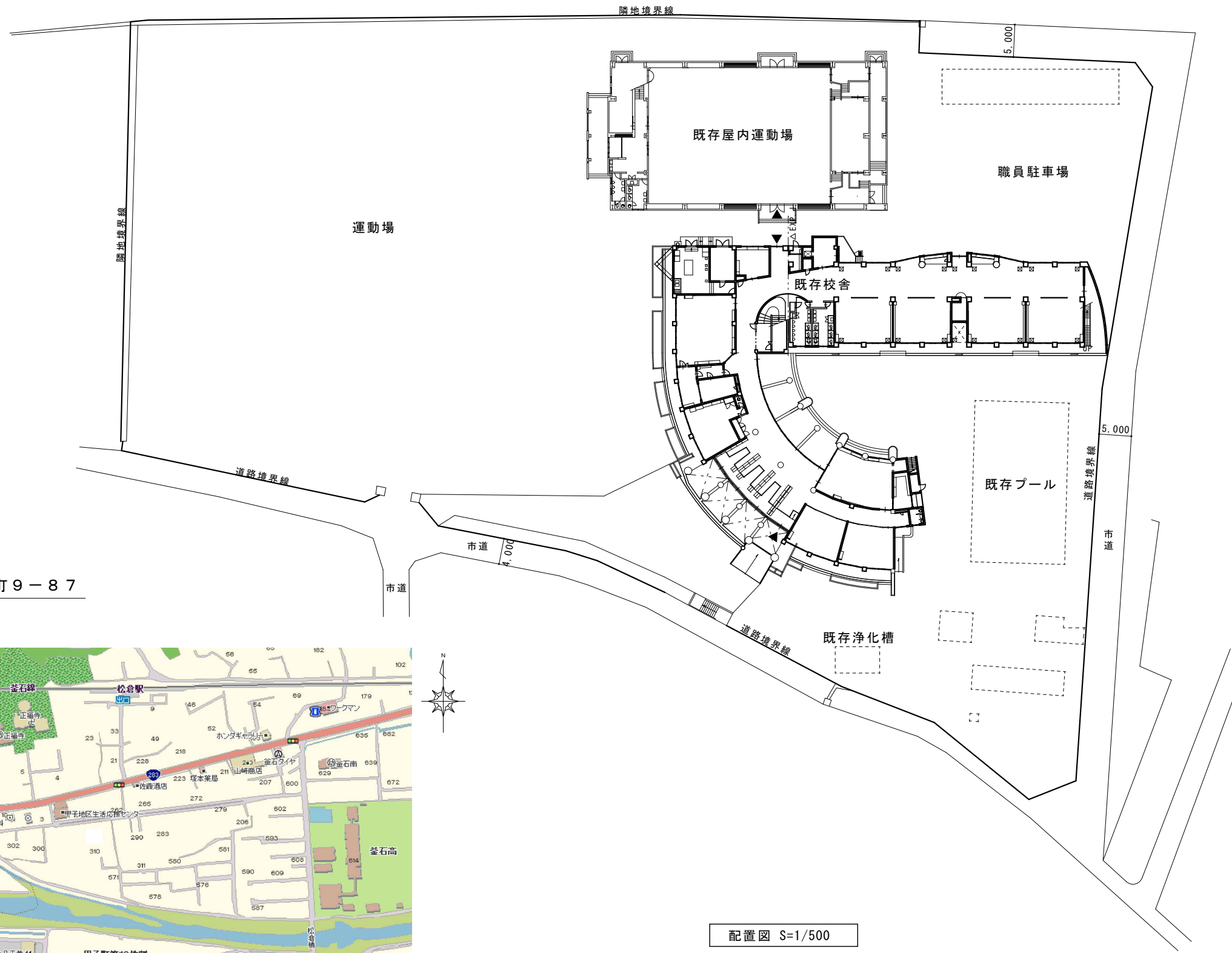


甲子小学校空調整備工事

甲 子 小 学 校	
図面番号	図 面 名 称
E－00	図面リスト
E－01	電気設備 特記仕様書
E－02	案内図・配置図
E－03	既設キュービクル改修結線図・動力盤結線図
E－04	1階 空調動力幹線 配線図
E－05	2階 空調動力幹線 配線図
E－06	3階 空調動力配線図・空調リモコン配線図
M－01	機械設備 特記仕様書
M－02	3階 平面図 空調設備・空調機器表

E-01



配置図 S=1/500

釜石市甲子町9-87

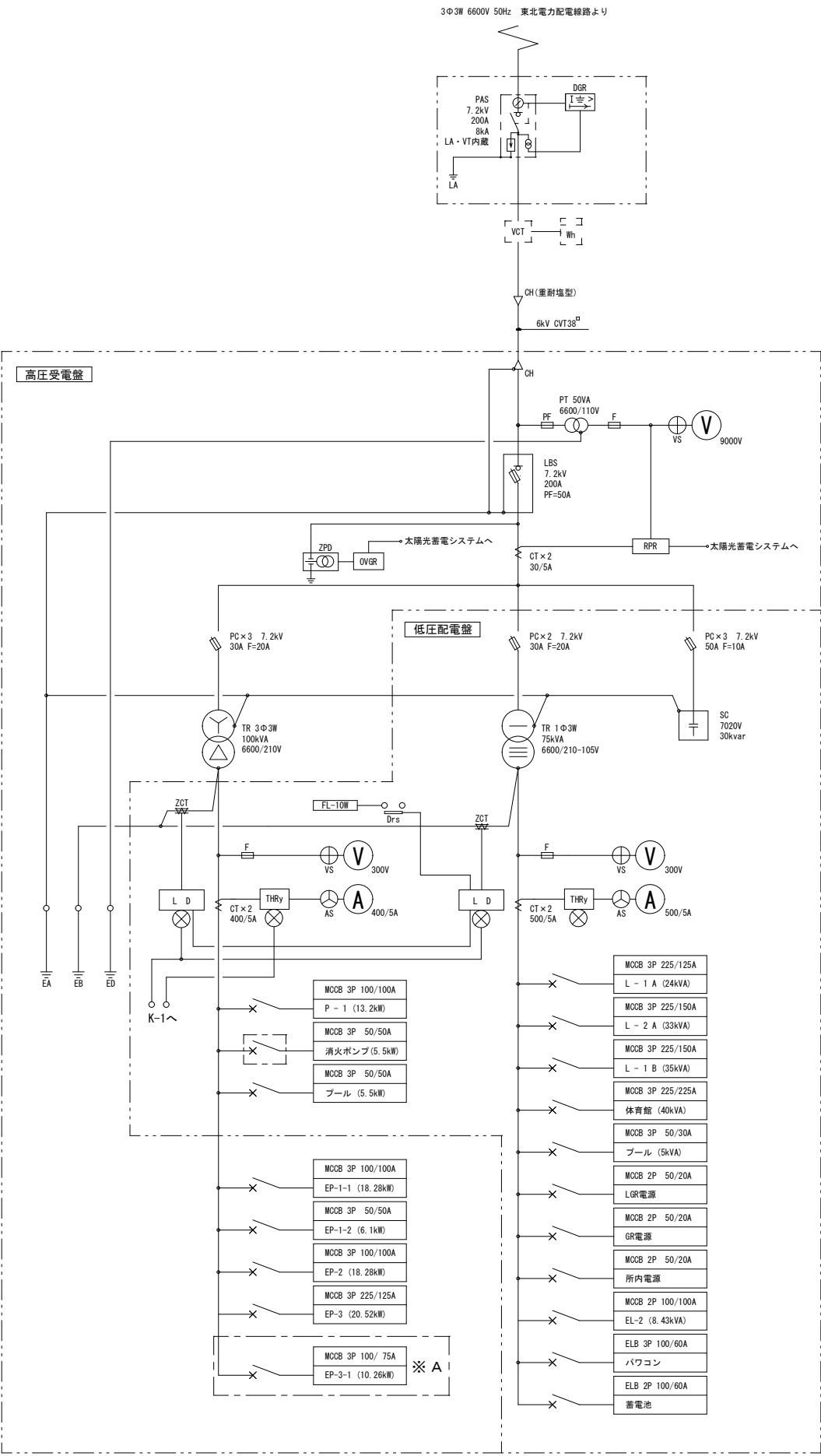


案内図

課長	主幹	課長補佐	設計

工事名	甲子小学校空調整備工事
令和5年6月	

図面名	案内図・配置図



低圧配電盤 改修内容

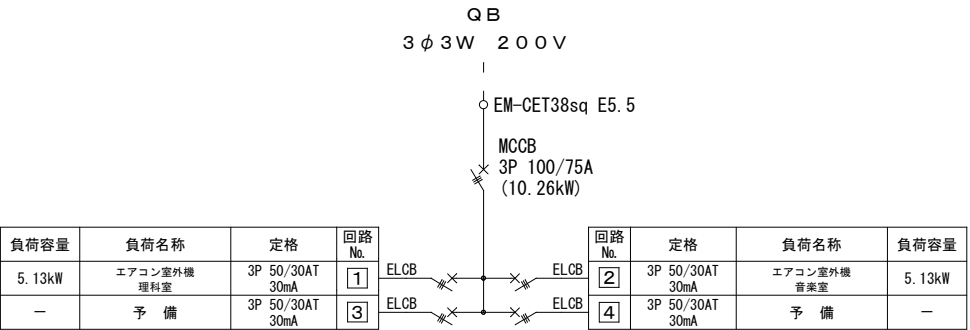
※ A

- ・既設低圧配電盤内に（MCCB 3P 100/75AT）を新設
- ・幹線はEM-CET38sq E5.5を新設
- ・線名札にて回路表示のこと
- ・停電日程を学校関係者、教育委員会と調整のこと

動力盤結線図（3階 EPS）

EP-3-1

（鋼板製露出壁掛形）



・線名札にて回路表示のこと。



釜石市建設部都市計画課

課 長

主 幹

課長補佐

設 計

工 事 名

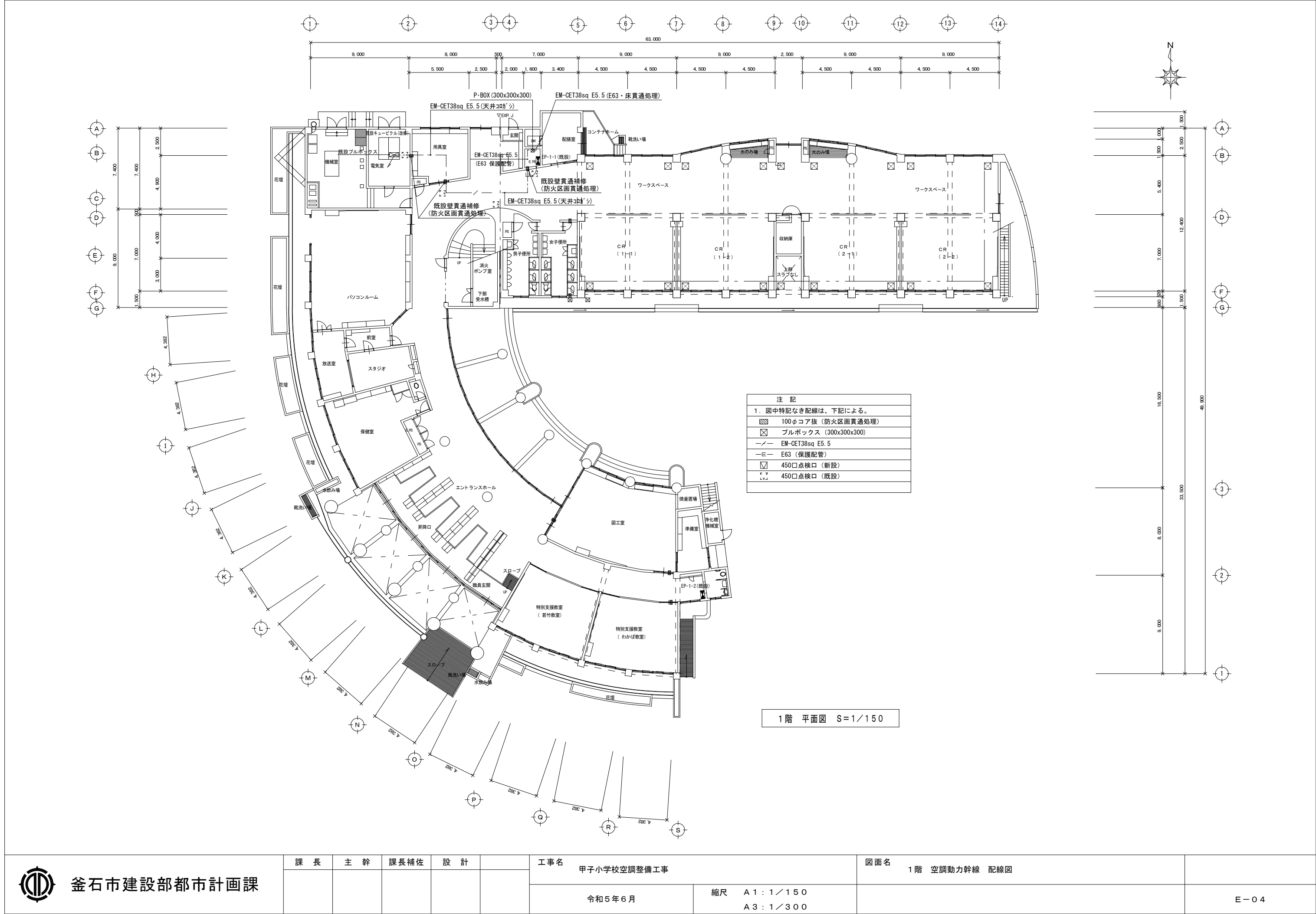
甲子小学校空調整備工事

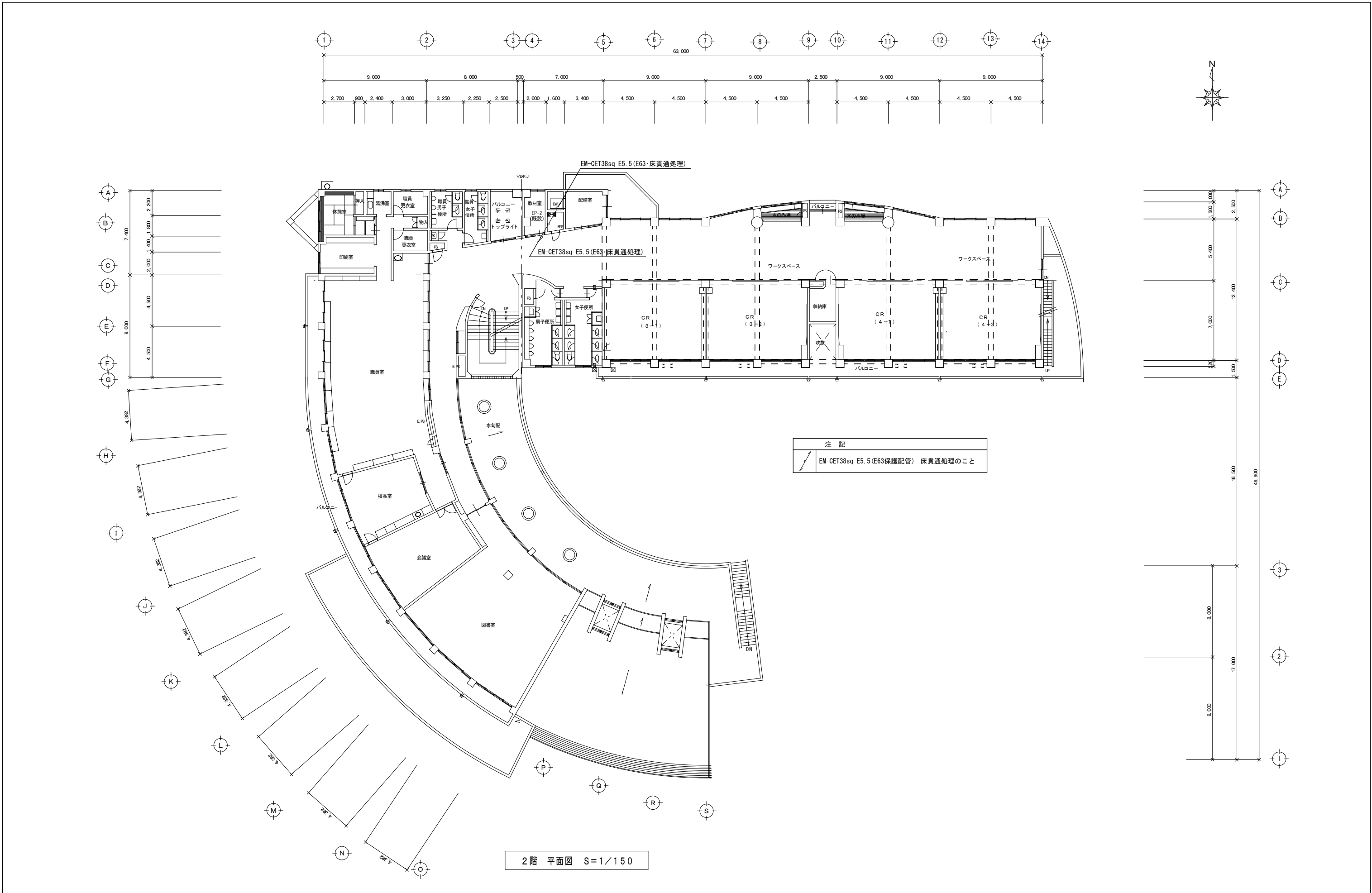
図 面 名


既設キュービクル改修結線図・動力盤結線図

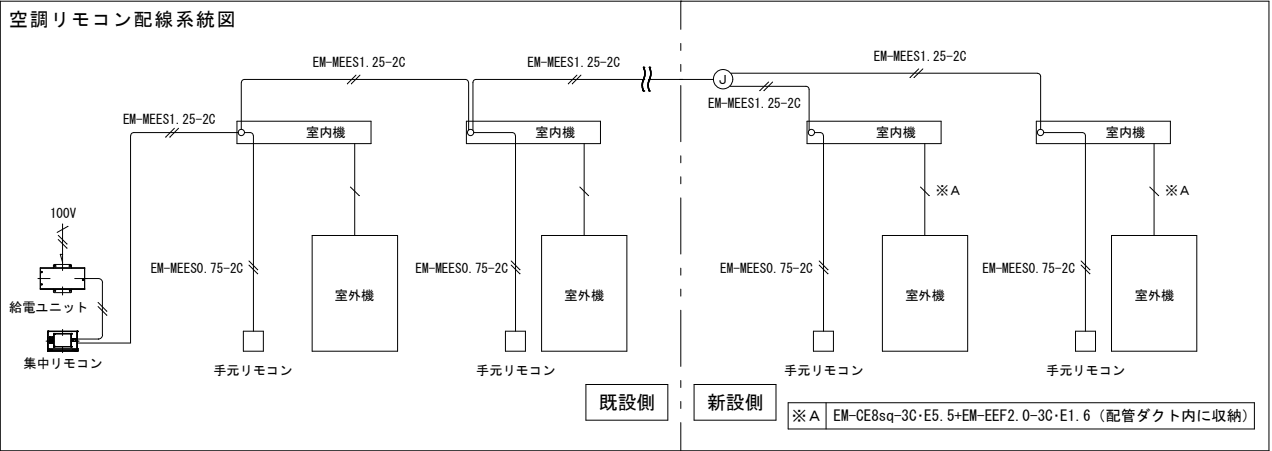
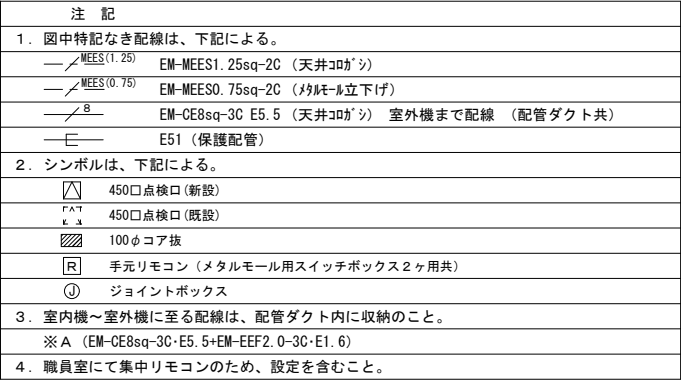
令和5年6月

E-03





 釜石市建設部都市計画課	課 長	主 幹	課長補佐	設 計	工 事 名	図 面 名	E-05
					甲子小学校空調整備工事	2階 空調動力幹線 配線図	
					令和5年6月	縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	



機械設備工事 特記仕様書

I. 工 事 概 要

- | | |
|---------|-------------|
| 1. 工事名称 | 甲子小学校空調整備工事 |
| 2. 工事場所 | 釜石市甲子町9-87 |
| 3. 建物概要 | |

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消 防 法 施 行 令 (別 表)	備 考
甲子小学校	R C 造	3 階		7 項	

4. 工事種目（◎印のついたものを適用する）

[illegible]

5. 設備概要（◎印のついたものを適用する）

空 気 調 和 方 式 等	⊙ 空 気 調 和	・ 全 空 気 方 式 ・ ファンコイル・ダクト併用方式 ⊙パッケージ方式（EHP）
	・ 温 風 暖 房	・ 温 風 暖 房 機 ・ F F 暖 房 機 ・ 全 空 気 方 式 ・ ファンコイル・ダクト併用方式
	・ 直 接 暖 房	・ 蒸 気 暖 房 ・ 温 水 暖 房
給 水 方 式	・ 水 直 通 給 水 方 式 ・ 高 置 タンク 方 式 ・ 加 圧 送 水 方 式	
排 水 方 式	建 物 内 の 汚 水 及 び 雑 排 水 （ ・ 分 流 式 ・ 合 流 式 ）	
	放 流 先 汚 水 ・ 下 水 直 通 接 放 流 ・ し 尿 淨 化 槽	
	雑 排 水 ・ 下 水 直 通 接 放 流 ・ し 尿 淨 化 槽 ・ 側 溝	
給 湯 方 式	・ 局 所 式 ・ 中 央 式	
消 火 設 備 方 式	・ 屋 内 消 火 栓 ・ 連 続 送 水 管 ・ 屋 外 消 火 栓 ・ スプリンクラー ・ 二 酸 化 炭 素 消 火 ・ 連 続 給 水 ・ 粉 末 消 火 ・ 泡 消 火 ・ そ の 他	

II. 工事仕様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁建築部監修の公共建築物標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）による。
2. 特記仕様
- 1) 項目番号に印のついたものを適用する。
2) 特記事項
- 印の付いたものを用いる。
● 印の付かない場合は ※ 印の付いたものを用いる。
◎ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

項目

目

特記事項

①適用基準等

○工事写真の撮り方 建築設備編（国土交通大臣官庁官庁宮館部監修）（最新版）
○機械設備工事監理指針（技術版） 国土交通大臣官庁官庁宮館部監修（最新版）

②電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、当該施設の電気技術者及び当該施設を占有管理する東北電気保安協会等を擁立し、工事期間中の電気工作物の保安及び工事監理の業務を行うものとする。

③技能者

・配管施工技術士・熱熱線施工技術士・塗装施工技術士
・冷凍空調調和機器施工技術士・建築板金施工技術士

④機材

本工事に使用する機器及び材料は新品とし、設計図書に定める品質及び性能を有するものとするほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は監督官の承認を受ける。

⑤機材等の検査及び試験

検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書による。

⑥工事用水の電力・水・その他

工事用仮設電力・水等の費用、官公署等への諸手続等の費用、及び本電源受電後引渡し又は、使用開始までの電気料金は、関係各請負業者において協議の上負担すること。

⑦足場その他

※別契約の関係請負者の定置する足場、さん橋の類は、無償で使用できる。
・本工事で定置する

⑧工事用仮設
工事用駐車場
資機材置場
養生処理

・構内に入るが
・構内に駐車
・構内に入るが
・構内に駐車
※ 構外搬出適切な機器・構内指示の場所・構内指示の場所にたい種

⑨発生材の処理

イ）引渡しを要するもの ※なし・あり（ ）
ハ）特別管理産業廃棄物 ※なし・あり（ ）
ニ）再利用（減量）等を図るものとし、処理方法等は監督官と協議する。

⑩現場において再利用を図るもの
ホ）本工事で発生する建設廃棄物のうち、若手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、若手県産業廃棄物税が課税されるもので適正に処理すること。

⑪総合調整

各機器の個別運転試験後下記のとおり総合調整を行う。
・風量調整・水量調整・室内外空気の温度測定
・室内気流及び塵埃の測定・騒音の測定○初期運転状態の記録
○機器の絶縁抵抗の測定

⑫容量の表示

イ）電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。
ロ）温熱換熱器数等及び防振機器の能力、容量はその数値以上とする。
ハ）冷却の周波数は、5.0 Hz とする。

⑬耐震施工

耐震措置の計画及び施工方法は、次の事項以外すべてに建築設備耐震設計指針（設置住宅宅居業指導用第197年版）による。

施設場所

特定用途
重要機器
一般施設
重要機器
一般施設

上層階、屋上及び塔屋

2.0(2.0)1.5(2.0)1.0(1.5)1.0(1.5)

中階

1.5(1.5)1.0(1.5)1.0(1.5)0.6(1.0)

1階及び地下

1.0(1.0)0.6(1.0)0.6(1.0)0.4(0.6)

注1）設置場所の区分は標準仕様書による。
注2）（ ）内の設備は防振支持の機器の場合に適用する。
イ）本工事の施設は、（※一般の施設・特定の施設）とする。
ロ）地域係数は、1.0とする。
ハ）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものを除く）においても耐震を考慮し、据付け又は取付を行うものとするが、前記取付の方法によりなくともよい。
ニ）重要機器類（高圧タンク、受水タンクは機器表による。）

14

は

つり

15

他工事との

取り合い

16

手

続

き

17

予

備

品

等

18

配

管

の

建

物

導

入

部

の

変

位

吸

収

19

管

周

圍

の

保

護

砂

及

埋

戻

土

20

地

中

埋

設

機

及

び

埋

設

表

示

用

テ

ー

プ

21

絶

縁

フ

ラ

ン

ジ

取

付

箇

所

弁

等

の

サ

イ

ズ

試

験

22

試

験

23

試

験

24

そ

の

他

25

保

険

26

完

成

時

提

出

書

類

27

工

事

実

績

情

報

の

登

録

(工

事

カ

ル

テ

)

28

施

工

条

件

既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

イ) 端子等については、特に電気請負業者と事前打合せを行う。
ロ) 機器付属の制御盤及び操作盤までの二次側電気工事は全て
※ 別途
ハ) 機器付属の制御盤及び操作盤までの二次側電気工事は全て
※ 本工事 ※ 別途
ニ) 全てのスリーブ入れ及び箱入れは ※ 本工事 ※ 別途
ホ) スリーブ及びボックス入りの補強工事は ※ 本工事 ※ 別途
ヘ) 天井、壁のボンド頭(軽量鉄骨も含む)の地下切込み及び開口補強は ※ 本工事 ※ 別途

官公署への諸手続き等は遅滞なく監督員と協議の上、請負者が代行処理する。
ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は予備品として、2.0%納入する。
(種類ごと最低1個)

建物導入部の変位吸収は標準図(施工4及び5)による。
対象管 ●給水管 ●ガス管 ●油管
イ) 周囲箇の保護 ●山砂
ロ) 埋戻し土 ●良質発生土

地中埋設機及び埋設用テープは、下記による。
イ) 給水管地中埋設機(※要) 埋設表示用テープ(※要) ●不要)
ロ) ガス管地中埋設機(※要) 埋設表示用テープ(※要) ●不要)
ハ) 油管地中埋設機(※要) 埋設表示用テープ(※要) ●不要)

図示による。
特に明記のない弁等のサイズは、接続配管サイズに同じ。
凍結の恐れのある水道管、冷温水管等の一部施工時の気密試験については、水圧試験を空気圧試験に代えることが出来るが、完成時までに水圧試験を実施すること。

イ) 電気設備工事及び建築工事は、各特記仕様書による。

本工事の請負者は、工事期間中工事目的物及び工事資材に対して、下記により組立保険に加入する。

加入金額	請負金額の100%
加入時期及び別開	資材搬入前から完成後30日まで

書類名	内 容	規 格	部数	備 考	
・完成面 ・完成面 ・完成面 ・完成面	・修正設計図	C D - R	・2		
	・青焼施工図	・A 4版	・1	関係者一覧表、製作図、機器取扱説明書、試験成績表、緊急連絡先一覧表、保証書、官庁届出書類等、産業廃棄物処理関係書類等を一括ネジ製本とする。なお、1冊の厚さ10cm程度とし、裏表紙の前にクツ封耐湿添加	
	・金文字入裏表紙 ・市販ファイル	・2つ折製本	・3		
	・カラー	C D - R	・2		
・写 真 実 査 問 用	・カラー	セパレ版	・1	撮影場所及その説明を記載するデジタルカメラも可とする(注)ただし、仕様については監督員と協議すること	
	・市販工事写真帳(表紙)	A 4版	・2		
	・保守管理案内書	日常保守管理案内書	A 4版 774枚	・1 ・2	使用者が容易に理解できるもの
	・材料検収簿	主要材料	A 4版 774枚	・1	補助監督員が認印したもの
・原図、 除画、 原稿	・提出しない ・提出する	・原図 ・除画 ・原稿		ファイルに入れて納品する	

※ 適用による

○本工事は建物を使用しながらの工事であること。

1

温

湿

度

調

整

目

標

値

2

ば

い

煙

濃

度

計

3

ば

い

じ

ん

量

測

定

口

4

煙

突

5

煙

道

6

ダ

ク

ト

7

風

量

測

定

口

8

防

煙

ダ

ク

ト

9

防

火

ダン

パ

ー

10

定

量

ユ

ニ

ッ

ト

11

配

管

材

料

外 気		室 内 (目標値)								備 考
温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	
冬季	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %
夏季	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %
	(DB) (RH)	(DB) (RH)	(DB) (RH)	(DB) (RH)	(DB) (RH)	(DB) (RH)	(DB) (RH)	(DB) (RH)	(DB) (RH)	(DB) (RH)

・ 取付け可能

・ 取付け不可

※ 取付ける (測定口80 フランジ止)

・ 取付け不可

※ 別途

・ 本工事 (鋼板厚4.5mm、高さ5.7m以上)

※ 鋼板厚300以下は3.2mm、300を超えるものは4.5mmとする。
※ 図示による(410以上の煙道には、排除口に蝶番を取付ける)

※ アングル工法 ● コーナールト工法 (● 共板 ● スライド)
※ 低速 ● スパイラルダクト

取付け場所は図示による。取付け不可は監督員の指示による。

復帰方式 ※ 遠隔式 (電動式 (定格入力DC24V0.5A以下))
※ 順送り ● 同時

図示のFVDとは、防火ダンパーに風量調節機構を組み込んだもので調節機構は、段階的調節機構とする。

・ メカニカルタイプ ● 風速センサタイプ

イ) 冷温水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ● 圧力配管用炭素鋼鋼管
● 耐熱性ライニング鋼管 ● ステンレス鋼管

ロ) 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ● 圧力配管用炭素鋼鋼管
● 塩ビライニング鋼管 ● ポリ粉体ライニング鋼管
● ステンレス鋼管

ハ) 蒸気管 送引管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ● 圧力配管用炭素鋼鋼管
返り管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ● 圧力配管用炭素鋼鋼管
● 一般配管用ステンレス鋼管

ニ) 油管、油用通気管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ● 鋼管
● 外面ポリエチレン被覆鋼管 (屋外、トラフ内配管)

ホ) 膨張管、空気抜き管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ●
※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ● ビニル管 (VP)

ヘ) 空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ● ビニル管 (VP)

ト) 冷媒管 ※ 鋼管 ● 圧力配管用炭素鋼鋼管 ○ 断熱材被覆鋼管
※ JIS 5 kgf/cm² ● JIS 10 kgf/cm²

※ ベローズ形 ● スリーブ形

標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。
(配管用はL形、ダクト用は丸形)
イ) 空調調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、環気ダクト及び外気ダクト
ロ) 冷温水ヘッダー (柱) 及び冷温水ヘッダーの各理り管
ハ) パッケージ型空調調和機の冷却水出口

空気調和設備

○ 空 気 調 和 設 備	15. 瞬間流量計 及び測定用 タッピング (3.2mmビーター 流量計用)	イ) 冷凍機又は冷水発生機の冷水出口 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形 ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける ロ) 冷凍機又は冷水発生機の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形 ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける ハ) ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形 ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける ニ) 空調機内の冷水水入口 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形 ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける ホ) 冷水水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形 ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける
	16. オイルタンク	イ) 遠隔油量指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない ロ) 計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100l実測目印とする。 計量尺は鋭きとする。
	17. 積算油量計 18. 消音内貼り ⑬ 保 温	※ 取付ける ・ 取付けない イ) 施工箇所は図示による。 ロ) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。 イ) 建物内の空気抜き管の保温は、空気抜き弁(弁含む)までとし、仕様は冷水管の項による。 ロ) 屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 ハ) 外気取り入れダクトの保温は、※ 行わない ・ 行わない ニ) 屋外の冷媒管の保温外装は ⑤ 化粧ケース(樹脂製)とする。 ホ) 高圧高気管及びヘッダーの保温厚 4.0mmとする。
	20. 電気工事の 範 囲	イ) 地震感知器の配管配線は ※ 別途 ・ 本工事 ロ) 防煙ガンバーと運動制御器までの配管配線及び運動制御器から煙感知器までの配管配線は ※ 別途 ・ 本工事
	21. カセット形 ファンコイル ユニットの風 量分配ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ・ 自己消火性のポリスチレンフォーム製
・ 換 気 設 備	1. 季組事項	[・ 暖房・冷房・空調機と設備の当該事項に準ずる。] ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10
	2. ダクトの工法	※ アングル工法 ・ コーナーボルト工法 (・ 共振 ・ スライド) ・ スパイラルダクト
	3. 厨房用フード	(・ 一重 ※ 二重)としてフードロック(※ 有 ・ 無)とする。
	4. 保 温	イ) 外気取り入れダクトは保温する。ただし、送・排風機は除く。 ロ) 全熱交換器に接続するダクトは、保温を行う。 ハ) 外壁より1m部分の排気ダクト及び浴室排気ダクトは、保温を行う。
・ 排 煙 設 備	1. ダクト	・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(1.6mm以上)
	2. 排煙口開放 装 置	・ 手動式(・ ワイヤード ・ 電気式) ・ 手動及び遠隔操作可能なもの
	3. 排煙風量 測定方法	排煙風量を測定する場合はJIS A 4303の排煙設備検査基準 4.2.1 (2) (C)による。
	4. 排煙口の形式	・ 可動羽根(スリット共) ・ 可動パネル
・ 自 設 制 御 機	1. 中央監視制御	・ あり ・ なし
	2. 中央監視制御 の構成機能	図示による。
	3. そ の 他	室内温度検出器等を2個以上併設して設置する場合は、サーモケースを使用する。
・ 衛 生 器 具 設 備	1. 大便器洗浄弁	・ 不凍節節水弁付とする。
	2. 大便器洗浄用 タンク	※ 防露形ロータック (※ 手洗いなし ⑤ 手洗い付)
	3. 小便器洗浄 装 置	※ 押ボタン式(不凍節節水弁付) ⑤ 自動洗浄(AC100V)
	4. 小便器洗浄管	※ 埋込 ・ 一部埋込 ・ 露出
	5. 付風水栓	吊りこま式(節水こま式)とする。家庭器具用は除く。
	6. 注 記 板	大便器及び小便器の壁に取付ける ・ 樹脂製
	7. 自動水栓	電源供給方法(※ AC100V ⑤ 流氷発電蓄電池)
・ 給 水 設 備	1. 量 水 器	親メーターは ※ 借用 ・ 買取り 子メーターは ※ 買取り
	2. 量水器樹	イ) 親メーター用 ・ 水道事業者の指定店 ・ 標準図(機材 57) ロ) 子メーター用 ・ 標準図(機材 57) ・ 水道事業者の指定店
	3. 配管材料	イ) 一般用 ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 鉄鋼管 ロ) 地中用(屋内地中も含む) ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管 ・ ビリン管 ・ ポリエチレン管
	4. 散 水 栓 ボックス	※ 鉄鋼製 ・ ステンレス製 (・ 鍵付 ・ 鍵無)
	5. 弁 類	水道直結部分 ※ JIS 10kgf/cm ² 高置水槽以降 ※ JIS 5kgf/cm ² ・ JIS 10kgf/cm ²
	6. 給 水 栓	・ 一般水栓 ・ 耐寒水栓
	7. 埋設深さ	※ 一般敷地内(0.6m以上) ・ 敷地内車輦道路(0.6m以上) ※ 公道部分(※ 水道事業者及び道路管理者規定による)
	8. 埋設弁開閉用 ハンドル	本工事に ※ 含む(水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない
	9. 保 温	イ) 量水器樹内の保温を行う。 ロ) 屋外配管(弁、フランジ類を含む)は、標準仕様書第2編2.3.5表a2(n)、厚さは、呼び径25mm以上のものは50mm、呼び径22mm以上のものは40mmとする。
	10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
	11. そ の 他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。

1. 配管材料	イ) 屋内汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ メカニカル形排水鉄管 ・ ビニル管 (V P) ・ 鉛 管 ・ 耐火二層管
ロ) 屋内雑排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ 排水用鉄管 ・ ビニル管 (V P) ・ 耐火二層管	
ハ) 屋外汚水、雑排水管 ・ ヒューム管 (1種B形) ・ ビニル管 (V P) ・ ビニル管 (V U) ・ コーティング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)	
ニ) 通気管、空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ 排水用鉄管 ・ ビニル管 (V P) ・ 耐火二層管	
2. 満水試験継手	・ 取付けない ・ 図示した箇所に取付ける
3. 別途流し	トラップは (・ 別途 ・ 本工事) 立管は本工事
4. 試験	排水管は、衛生器具などの取付け完了後履歴試験又は通水試験を ※ 行う ・ 行わない
5. 放流負担金	・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)
1. 配管材料	・ 耐熱性塩ビライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 鋼 管 ・ 被覆鋼管 ・ 保温付被覆鋼管
2. 弁 類	給水設備の当該事項による。
3. 湯沸器回り配管	機器に接続する給水管、給湯管は鋼製又はステンレス製のフレキシブルチューブを使用している。
4. 湯沸器の排気筒	※ 本工事 (厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製) ・ 別途
5. 保温	湯沸器排水筒の保温は ※ 行う ・ 行わない
1. 配管材料	イ) 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (細目無管) (Sch80)
ロ) 地中埋設部 ・ 外面被覆鋼管 (SGP-VS) ・ 外面被覆鋼管 (SGP-PS) ・ ・ JIS 10 kgf/cm ² ・ JIS 20 kgf/cm ²	
2. 消火栓開閉弁	屋外露出管については給水管に準ずる。
3. 保温	kgf/cm ² 以下
4. 2号消火栓の圧力損失	
1. ガスの種類	・ 都市ガス (発熱量 kCal/m ³) 都市ガス供給業者 () ・ 液化石油ガス (12,000 kCal/Kg)
2. 配管材料	イ) 一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ロ) 地中埋設部 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・
3. 都市ガス	イ) ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用 子メーターは買取りとする。 ・ ロ) 引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事) ・
4. 液化石油ガス	イ) ガスボンベは ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10 kg ・ 20 kg ・ 50 kg 本) ロ) ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用 子メーターは買取りとする。 ハ) 転倒防止用の鎖は ※ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 転倒防止装置は ・ 本工事と施工要領は標準図 (施工 73) による。 ・ 本工事 ・ 別途工事 図示の場所に ・ 取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) 外部出力端子 (・ あり ・ なし)
5. ガス漏れ警報遮断装置	※ 一般敷地内 (m 以上) ・ 敷地内車輦道路 (m 以上) ・ 公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による)
6. 埋設深さ	
1. 厨房機器類	・ 本工事 ※ 別途工事
2. 付属制御盤	器具付属の制御盤は、製造者規格品とする。
1. 処理能力	図示による。
2. 放流水質	図示による。
3. 処理方式	図示による。
4. 主要構造	図示による。
5. 制 御 盤	※ 制御盤には漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。 ・ 製造者標準品とする。
6. 消 毒 剤	30日分を納入する。
7. 維持管理	※ 使用開始後請負者において1年間維持管理すること。 (放流水の水質検査書を提出する) ・ 一定期間定常状態において使用後、放流水の水質検査書提出すること。
1. 撤去工事	・ 空調設備 ・ 給排水衛生設備 ・ ・ アスベストの撤去 ・ 有り ・ 無し
① 発生材	① 発生材は、金属 (鉄、アルミニウム、ステンレス等)、樹脂 (プラスチック、ビニル管等)、保温材 (ロックウール、グラスウール、ポリスチレンフォーム等、その他、(コンクリート破片等)等に分けて分別収集する。
② 産業廃棄物	② 産業廃棄物の処理は適正に処理する。
※ 防食工事	トラフ内通配管には、ペトロラタム系防食テープをハーフラップ1回巻きの上、防食用プラスチックテープをハーフラップ1回巻きとする。 被覆鋼管も同様とする。

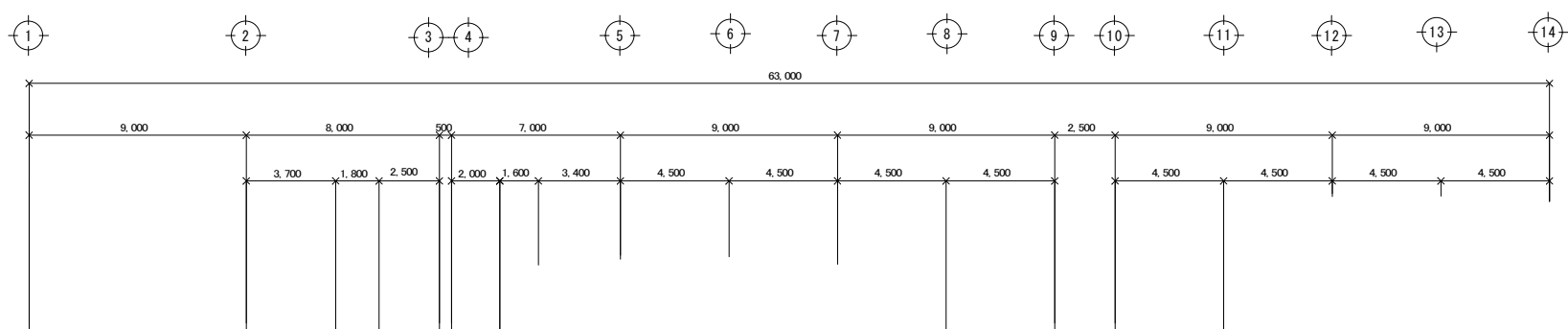






釜石市建設部都市計画課

令和5年6月

機械設備特記仕様書

M-0 1



記号	名 称
	450□点検口（新設）
	450□点検口（既設）
	スリムダクト140
	サクション加工（ガラスからポリカに交換）

記号	液 / ガス
A	9.5 / 15.9

- ・ドレン管屋外露出配管は外壁類似色カラーVP管とし保温しない。
- ・スリムダクトは内装及び外壁類似色とする。

機 器 表		仕 様 ・ 内 訳		電 気 容 量 (定 格)		数 量	設 置 場 所	備 考 (参考品番)
記 号	名 称			φ-V	kW			
EHP I	空調機	形式：ヒートポンプエアコン 天吊形 シングル インバーター制御 新冷媒対応型		3 - 200	5. 1 3	2	3 F 理科室	RCSA16043MJB
	(室外ユニット)	冷房能力：14.0kW 暖房能力：16.0kW					3 F 音楽室	
		付属品：保護ネット 転倒防止金具 他標準付属品一式						
	(室内ユニット)	冷房能力：14.0kW 暖房能力：16.0kW						
		付属品：ワイヤードレコン 標準ワイヤー ドレンパイプ 集中制御用7'アダ 防振吊金具 他標準付属品一式						
①	室外機架台	壁面用ブラケット溶融亜鉛メッキ架台				1	3 F 音楽室	PC-BJ61
		架台固定用接着系アンカー一式						
②	室外機架台	空調用コンクリートブロック (700x300x100H) 2枚1組				1	3 F 理科室	VB-70A
		平地置用溶融亜鉛メッキ架台 (H=300) 底部敷込用防振ゴム10mm						PC-NJ33

3階 平面図 S=1/150



釜石市建設部都市計画課

課 長	主 幹	課長補佐	設 計	

工 事 名		甲子小学校空調整備工事
令和5年6月	縮尺	A 1 : 1 / 1 5 0 A 3 : 1 / 3 0 0

図面名
3階 平面図 空調設備・空調機器表

M-0 2